
日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2007 年度 NO.2

目次

- ・第8回大会を終えて
- ・第9回大会を開催するにあたって
- ・年報編集委員会報告
- ・企画研究委員会報告
- ・理事会・総会報告
- ・平成19年度高良記念研究助成募集について
- ・2007-2008年度役員について
- ・2007-2008年度委員会等構成について
- ・2007-2008年度関西支部役員について
- ・2006学会年度事業ならびに決算報告
- ・2007学会年度事業計画ならびに予算
- ・会則改正について
- ・事務局便り
- ・新入会員リスト、所属・住所等変更リスト

第8回大会を終えて

第8回大会委員長 亀野淳 (北海道大学)

9月29日(土)に第8回大会が北海道大学において『インターンシップの多様化と体系化ーキャリア発達段階における位置づけと役割ー』というテーマで開催されました。大会参加者数114名(うち会員62名)と本学会の大会としては最大の規模であったでしょう。もちろん、大会運営に当たって様々な問題点、反省点もありましたので、大会委員長として同大会の裏事情も含め振り返ってみたいと思います。

北海道大学での大会開催の非公式の打診があった当初は躊躇しました。その理由は、遠方での開催による参加者数の確保と円滑な運営への不安でした。

このような不安を抱えつつ、発表申込の受付を開始した5月中旬当初は出足が悪く、不安になりましたが、締切間際になり当初の予想を超える多くの申込があり3つの発表会場を使用し、同時に、各発表をテーマ別に分類しました。これらは本学会では初めての取り組みでした。

また、7月下旬の参加者の申込受付当初も出足が悪かったですが、締切間際(あるいは締切後)に多数の参加申込があり私たちの不安は幸いにも杞憂に終わりました。

さらには、大会のホームページも作成しました。会員へのタイムリーな連絡と様式のダウンロードが主な目的でしたが、ホームページをみた会員以外からの問い合わせ・申込が多数あり、その効用を再認識させられました。

もちろん、反省点はいくつもあります。パソコンの不調(前日にチェックしましたが、原因不明)、手狭な発表

教室(予想以上の参加者があってよかったが・・・)、不十分な会場の案内表示(初めての来訪者の視点に立った案内表示が不可欠だったと反省・・・)、短かったシンポジウムの時間(懇親会のカニが頭にちらついてきた・・・)などいくつもありますが、これらの点は次期大会開催校に引き継ぎたいと思います。

大会の運営に当たっては、もちろん、私一人の力では到底実施できるものではありませんでした。北海道内の会員からなる実行委員会を組織し、それぞれの先生方には非会員の参加勧誘、大会の運営に当たってのノウハウや資料の提供、当日の受付窓口や会場担当としてご尽力いただきました。また、学生アルバイトの皆さんにも手際よく行動していただきました。小さな学会とはいえ、実行委員会の先生方、アルバイトの学生、さらには学会の役員や事務局の方々の協力がなければ大会を開催することは不可能であったでしょう。

学会は本来、学会員の会費や協力により会員自ら運営する共同体であります。したがって、年会費や大会参加費を支払っているからその分きちんとサービスをしろという考え方では、共同体である学会そのものは成り立たないでしょう。幸い、本学会は学会員が協力して運営していこうという意識が高く、大会の運営上大変ありがたかいものでした。このような高い意識は規模が大きくなったとしてもきちんと残していきたいものです。

ただいま、募集中!

- 『インターンシップ研究年報』投稿 →2頁へ
- 平成19年度高良記念研究助成 →5頁へ

第9回大会を開催するにあたって

第9回大会委員長 石田宏之（豊橋創造大学）

次年度の日本インターンシップ学会第9回大会は、第8回の大会の総会にてご了解いただきましたように、2008年9月27日（土）を予定し、愛知県豊橋市に立地しております豊橋創造大学でお引き受けすることになりました。詳細につきましては年を改めましてまたご案内いたしますので、皆様方のご指導・ご協力を賜りますようお願いいたします。

年報編集委員会報告

1. 学会発行雑誌の電子公開および著作権処理について

現在、本学会では、国立情報学研究所電子図書館サービス（NII-ELS）および同研究所論文情報ナビゲーター（CiNii）を通じた論文の電子公開を進めておりますが、著作物の取り扱いについては、本学会「年報」の投稿論文規程には盛り込まれていませんでした。そこで今回、先の総会（9月29日）において審議いただいたように、以下の項目を投稿論文規程に追加することといたしました。

【日本インターンシップ学会投稿論文規程】

5. 学会発行雑誌の電子公開および著作権処理について

- 5-1 年報に掲載された論文等の著作権については、本学会に帰属する。
- 5-2 著作者自身が、自己の著作物を利用する場合には、本学会の許諾を必要としない。
- 5-3 採用された論文等は国立情報研究所電子図書館等に公開される。

なお、過去の論文等についても同様の処理をしたいと思っておりますので、異議のある方は平成19年11月末日までに事務局にお申し出ください。

2. 「インターンシップ学会研究年報11号」への論文等の投稿お願い

第8回大会も無事終了し、大会報告を含め「インターンシップ学会研究年報第11号」の準備に入りたいと思っておりますので、学会員の方々に年報に投稿ご希望の方は、2008年1月20日（日）必着で、下記編集部にお送りください。

投稿に当たっては、当学会誌の投稿論文規程をご一読ください。なお、大会発表者の方々につきましては、別途ご案内をさせていただきます。

【研究年報 論文等投稿原稿募集】

- ・必着 2008年1月20日（日）必着
- ・送付先
豊橋創造大学情報ビジネス学部石田研究室
メールアドレス：ishida@sozo.ac.jp
住所：440-8511 豊橋市牛川町松下20-1
電話：050-2017-2212

遅くなりましたが、研究年報10号が発行でき皆様方にお送りいたしましたが、2006年度会費を納入いただいたにもかかわらず未着の方は、事務局にお知らせください。

（年報編集委員会委員長 石田宏之）

企画研究委員会報告

2007年度第1回研究会開催報告

2007年度第1回研究会は、2007年6月23日（土）に桜美林大学新宿第2キャンパスL教室にて開催されました。今回は派遣型高度人材育成協同プランをテーマとし、まず、東京工業大学総合理工学研究所教授の小田原修氏より、「社会共生型創発力を育む産学連携実践教育」の取り組みの現状と課題」と題する講演をいただきました。続いて、豊橋技術科学大学副学長、物質工学系教授の神野清勝氏から、「社会環境即応型リーダー技術者育成プラン—MOT 試行システム技術科学教育によるリーダー人材の養成」と題して講演をいただきました。

いずれも、文部科学省の平成18年度派遣型高度人材育成協同プラン選定プロジェクトに選定されたもので、東京工業大学の事例は、連携講座として教育研究に携わる国内外の企業と協同し、主に博士課程後期の学生が社会と直結した舞台で実施される実践的教育プログラムです。特に、ハワイ大学の環境・バイオテクノロジーおよび宇宙科学の分野を活用しての人材育成が印象的でした。一方、豊橋技術科学大学からは、激動する知的基盤社会に即応可能な高度人材の要求に対応するためのMOT指向の技術科学教育プログラムが紹介されました。実務訓練を経た実践的思考力のある修士学生や基礎人間

力に優れた博士後期過程進学予定者を特定連携企業の研究開発現場に派遣し、人材育成を実施する取り組みです。学部・大学院一貫で基礎と専門をスパイラルに教育する大学ならではの取り組み方に特徴がありました。

両事例紹介とも内容的に非常に充実したもので、フロアからも矢継ぎ早に質問が飛ぶなど、盛会のうちに終了いたしました。ご参加いただきました会員の皆様には、厚くお礼申し上げます。

2007年度第2回、第3回開催予定

2007年度はあと2回、研究会を開催いたします。いずれも詳細につきましては、決定次第、本学会ウェブサイトにて公開いたします。振るってのご参加をお願いいたします。

【日本インターンシップ学会第2回研究会： 関西支部第3回研究会】

日時：2007年12月15日（土）14：00～16：30
（受付開始13：30）

会場：関西学院大学 大阪梅田キャンパス
（大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー10階）

*ニュースレターNo.1でお伝えした会場と異なっております。ご注意ください。

テーマ 「工業高等専門学校におけるインターンシップ、
キャリア教育」

基調コメント／二村村森氏（経済産業省）

研究発表1／田村隆弘氏（徳山工業高等専門学校）

「徳山高専におけるキャリア育成教育とインターンシップ」

研究発表2／松本勉氏（熊本電波工業高等専門学校）

「海外研修旅行と銘打つキャリア教育」

研究発表3／奥本良博氏（阿南工業高等専門学校）

「阿南高専における低学年からの職業指導の実践」

総括／加藤敏明（立命館大学）

【第3回研究会（予定）】

日時：2008年3月22日（土）13：30～17：00

会場：筑波大学東京キャンパス

（企画研究委員会委員長 田中宣秀）

理事会・総会報告

本号から、理事会や総会での審議状況等について、会員の皆様にお知らせいたします。

2007年度第1回理事会

2007年度第1回理事会が、2007年6月23日（土）に、桜美林大学新宿第2キャンパスにて開催されました。

- (1) 名簿記載状況調査ならびに会員名簿発行について
今年度は会員名簿を冊子体で刊行し、その元となる名簿記載状況調査を定期的におこなうこととなった。
- (2) 入会申込書書式改定について
入会申込書書式は今後、個人情報保護法ならびに名簿発行へ対応する形で変更し、会則に従い経歴記載欄を廃し推薦者2名を記載できるよう変更することになった。（書式は本学会ウェブサイトから入手できます）
- (3) 平成18年度決算、平成19年度予算について
上記2件について、一部改訂を条件に承認された（詳細は、「2006学会年度決算報告」ならびに「2007学会年度予算」の項をご参照下さい）
- (4) 第8回大会について
大会参加費は学生会員の取扱も含めて大会校の裁量とし、法人会員は、会則第5条を原則としながら、5人以内まで会員資格での大会参加費徴収を運用上可とすることとなった。関連して、会員への総会の出欠確認と委任状の確認は行わないこととなった。
- (5) 企画研究委員会設置について
主に年3回の研究会の企画を行うための「企画研究委員会」を設置することとなった。委員長は田中副会長、委員は那須、鈴木、加藤の各理事と稲永事務局員とするが、特定の会員に委員会等の負担が集中している現状を鑑み、次期の役員任期から各種委員会委員を再編成することとなった。また研究会は3回のうち1回は地方開催を原則とし、本年度の12月15日の研究会については、関西支部での開催可能性を含めて検討することとなった。
- (6) 「高良基金」について（次回継続審議）

2007年度第2回理事会

2007年度第2回理事会が、2007年8月27日(月)に、筑波大学東京キャンパスにて開催されました。

(1) 入退会申請者の手続について

入会申請者のうち推薦者がいない場合は、追加資料として略歴書の提出を依頼し、提出資料をもとに理事会で承認の可否を審議することとなった。また、退会申請者のうち会費未納退会者については、退会承認通知送付時に会費未納分の督促を行うこととなった。

(2) 監査報告について

横山監事より、平成18年度会計監査を平成19年8月27日に実施したことが、いくつかの付帯意見と共に報告された。

(3) 年報編集委員会報告

(詳細は、「年報編集委員会報告」をご参照下さい)

(4) 企画研究委員会報告

(詳細は「企画研究委員会報告」をご参照ください)

(5) 第8回大会について

大会校での検討事項となっていた学生会員の参加費と懇親会費は一般会員と同額とし、非会員学生(学部生、院生)の場合は無料とすることとなった。

(6) 高良記念研究助成について

2006年度に高良和武名誉会長より100万円を学会へ寄贈いただいたことを受け、その使途について「高良基金ワーキンググループ」を中心に継続して検討した結果、これを「高良記念研究助成」として運用することになり、次回総会時にその開始について会員に周知することとなった。(詳細は「平成19年度高良記念研究助成の募集について」の項をご参照下さい)

(7) 関西支部の役員について

関西支部役員が交代したことが報告された。(詳細は「2007-2008年度関西支部役員について」の項をご参照下さい)

(8) 会則について(次回継続審議)

(9) 後援依頼について

地球産業文化研究所より依頼があった、当該研究所主催シンポジウムへの後援を承認した。(詳細は「事務局便り」の項をご参照下さい)

2007年度第3回理事会

2007年度第3回理事会が、2007年9月28日(月)に、北海道大学にて開催されました。

(1) 高良和武名誉会長への感謝状贈呈について

2007年度総会において、高良和武名誉会長に対し、学会として感謝状を贈呈することになった。

(2) 国立情報学研究所 CiNii による論文公開について

年報に収録されている論文の公開にあたり必要な著作権処理について、原則として学会に著作権を帰属させる形で手続を取り、同時に関連規程を整備することとなった。(手続方法等詳細は、「年報編集委員会報告」をご参照下さい)。

(4) 日本学術会議協力学術団体の申請について

日本学術会議協力学術団体への申請を行うこととなった。

(5) 会則改正について

会則の一部改正について、継続して検討してきた結果、理事会承認案を総会に諮ることとなった。(詳細は、「会則改正について」の項をご参照ください)

(6) 法人・団体会員の取扱について(次回継続審議)

(7) 総会議題について

総会議題は事務局原案通りとなった。

2007年度総会

2007年度総会が、2007年9月29日(土)に、北海道大学高等教育機能開発総合センターにて開催されました。

(1) 2006年度活動報告、決算について

原案通り承認された。(詳細は「2006学会年度決算報告」の項をご参照下さい)

(2) 会則改正について

一部修正を施した上で承認された。(詳細は「会則改正について」の項をご参照下さい)

(3) 2007-2008年度役員および委員会組織について

別項「2007-2008年度役員について」「2007-2008年度委員会等構成について」の通り選出された。なお、役員選出方法について今後検討することとなった。

(4) 2007年度事業計画ならびに予算について

原案通り承認された。(詳細は「2007 学会年度事業計画ならびに予算」の項をご参照下さい)

(5) 高良記念研究助成について

原案通り承認され、平成 19 年度の募集にはいることとなった。また、高良和武名誉会長に対し、感謝状が贈呈された。(詳細は「平成 19 年度高良記念研究助成募集について」の項をご参照下さい)

(6) 第 9 回大会について

第 9 回大会を豊橋創造大学でおこなうことが承認された。石田理事(豊橋創造大学)より、大会開催の挨拶がおこなわれた。(詳細は「第 9 回大会を開催するにあたって」の項をご参照下さい)

(7) その他

国立情報学研究所 CiNii での論文公開に関わる著作権の取扱について報告があった(詳細は「年報編集委員会報告」をご参照下さい)。また、学会後援イベントの紹介が行われた(詳細は「事務局便り」の項をご参照下さい)。

(事務局)

平成 19 年度高良記念研究助成募集について

日本インターンシップ学会では、インターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及、特に若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進を図るため、平成 19 年度から「高良記念研究助成」制度を設け、優れた研究課題への研究助成を行うことになりました。この制度は、高良和武名誉会長から学会へ寄付頂いた基金をもとに、また先生の学会設立からの多大な貢献を記念し、本学会の研究助成事業として開始するものです。

もうすでに、お手元に募集要項等書類が届いていることと存じます。是非ご一読いただき、積極的にご応募いただきますよう、お願い申し上げます。締切は平成 19 年 11 月 30 日(金:必着)です。

なお、募集要項や申請書書式等書類につきましては、本学会ウェブサイトでも公開しております。

(事務局)

2007-2008 年度役員について

2007 年度総会におきまして、2007-2008 学会年度役員

が下記の通り決まりました。(五十音順、敬称略)

●会長

田村紀雄

●副会長

加藤敏明、館昭、田中宣秀

●常任理事

石田宏之、太田和男、小川浩平、亀野淳、鈴木英雄、那須幸雄、並木榮一、吉本圭一

●理事

青野友太郎、安孫子勇一、天谷正、伊藤文男、稲永由紀、川井良介、古閑博美、高橋保雄、内藤康男、中原淳二、樋口美雄、槇本淳子、松澤孝明、宮原隆史、横山修一

●監事

沢田隆、横山皓一

(事務局)

2007-2008 年度委員会等構成について

2007-2008 年度役員選出を受けて、2007-2008 年度委員会等構成が下記の通り決まりました(五十音順、敬称略、顧問については就任承諾の確認後に広報予定)。

●事務局(☆は事務局長)

稲永由紀、江藤智佐子、福岡哲朗、☆吉本圭一

●広報委員会(☆は委員長)

中原淳二、☆槇本淳子、横山修一

●企画研究委員会(☆は委員長)

加藤敏明、亀野淳、鈴木英雄、☆田中宣秀、那須幸雄、真鍋和博

●年報編集委員会(☆は委員長)

安孫子勇一、☆石田宏之、稲永由紀、太田和男、亀野淳、見目喜重、館昭、田中宣秀、吉本圭一

(事務局)

2007-2008 年度関西支部役員について

2007-2008 年関西支部役員について、以下のように決まりました。(順不同、敬称略)

支部長 加藤敏明

副支部長 安孫子勇一、松澤孝明

(関西支部長 加藤敏明)

2006 学会年度事業ならびに決算報告

「理事会・総会報告」にてご報告いたしましたとおり、2006 学会年度事業ならびに決算報告につきましては、下記の通り総会で承認されました。

2006(平成18)年度 日本インターンシップ学会 収支計算書 (2006年4月1日～2007年3月31日)

【一般会計】				(単位:円)			
支出の部	2006年度予算(a)	2006年度決算(b)	予実差異(a-b)	収入の部	2006年度予算(a)	2006年度決算(b)	予実差異(a-b)
研究会費用	300,000	212,700	87,300	会費収入	1,325,000	1,275,000	50,000
(東京会場)	150,000	112,700	37,300	(個人会員)	700,000	770,000	-70,000
(関西支部)	150,000	100,000	50,000	(法人・団体会員)	600,000	500,000	100,000
大会開催費補助	200,000	421,700	-221,700	(学生会員)	25,000	5,000	20,000
年報印刷費	350,000	321,505	28,495	研究会収入	9,000	3,000	6,000
通信費	85,000	10,920	74,080	書籍販売収入	12,000	4,000	8,000
HP修正・改善費	150,000	31,200	118,800	その他	500	127	373
その他運営費	100,000	163,569	-63,569	(受取利息)		127	-127
				(雑収入)		0	0
				関西支部余剰金	0	30,640	-30,640
次年度繰越金	675,204	664,877	10,327	前年度繰越金	513,704	513,704	0
							0
合計	1,860,204	1,826,471	33,733	合計	1,860,204	1,826,471	33,733

<会費収入内訳>

個人会員 平成18年度会費 @10,000×60=600,000
過年度会費 @10,000×17=170,000
法人団体会員 平成18年度会費 @20,000×25=500,000
学生会員 平成18年度会費 @5,000×1=5,000

【特別会計(高良基金)】				(単位:円)			
支出の部	2006年度予算(a)	2006年度決算(b)	予実差異(a-b)	収入の部	2006年度予算	2006年度決算	予実差異(a-b)
				高良和武氏より寄付金	0	1,000,000	-1,000,000
				受取利息	0	0	0
次年度繰越金	0	1,000,000	-1,000,000	前年度繰越金	0	0	0
合計	0	1,000,000	-1,000,000	合計	0	1,000,000	-1,000,000

(事務局)

2007 学会年度事業計画ならびに予算

「理事会・総会報告」にてご報告いたしましたとおり、2007 学会年度事業計画ならびに予算につきましては、下記の通り総会で承認されました。

2007(平成19)年度 日本インターンシップ学会 予算

【収入の部】		(単位:円)			
大科目	中科目	平成19年度予算額	前年度予算額	平成18年度実績	予算増減
会費収入	小計	1,325,000	1,325,000	1,275,000	0
	個人会員(10,000円)	700,000	700,000	770,000	0
	法人・団体会員(20,000円)	600,000	600,000	500,000	0
	学生会員(5,000円)	25,000	25,000	5,000	0
事業収入	小計	17,000	21,000	7,000	-4,000
	研究会収入	5,000	9,000	3,000	-4,000
	書籍・年報等販売収入	12,000	12,000	4,000	0
雑収入	小計	500	500	30,767	0
	受取利息	500	500	127	0
	その他の収入	0	0	0	0
	関西支部余剰金	0	0	30,640	0
当期収入合計(A)		1,342,500	1,346,500	1,312,767	-4,000
前期繰越収支差額		664,877	513,704	513,704	151,173
収入合計(B)		2,007,377	1,860,204	1,826,471	147,173

【支出の部】		(単位:円)			
大科目	中科目	平成19年度予算額	前年度予算額	平成18年度実績	予算増減
事業費	小計	1,080,000	850,000	955,905	230,000
	研究会開催費	400,000		400,000	0
	研究会費用(東京)		150,000	112,700	-150,000
	研究会費用(関西)		150,000	100,000	-150,000
	大会開催費	300,000	200,000	421,700	100,000
	年報印刷費	350,000	350,000	321,505	0
	名簿作成費	30,000	0	0	30,000
事務管理費	小計	430,000	335,000	205,689	95,000
	通信費(郵送料等)	80,000	85,000	10,920	-5,000
	HP修正・改善費	100,000	150,000	31,200	-50,000
	その他運営費	250,000	100,000	163,569	150,000
予備費	予備費	497,377	675,204	664,877	-177,827
当期支出合計(C)		2,007,377	1,860,204	1,826,471	147,173
当期収支差額(A)-(C)		-664,877	-513,704	-513,704	-151,173
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	0

(事務局)

会則改正について

「理事会・総会報告」の2007年度総会の項でご報告致しました通り、下記の通り会則が改正されました。

旧	新
<p>(目的) 第2条 本会は、インターンシップに係わる諸問題の研究、社会に対する啓蒙、提言、これに携わる産学の情報連絡を第一義とし、併せて懇親を図ることを目的とする。</p> <p>(事業) 第3条 本会は前条の目的を達するため、次の非営利事業を行う。 ① <u>毎年1回の大会及び毎年2回以上の部会の研究発表並びに討議</u> ② <u>インターンシップ学会会報</u>その他インターンシップに関する諸問題のための資料作成並びに頒布 ③ 内外の関連学会並びに団体等との連絡及び情報の交換 ④ その他本会の目的を達成するために必要な事業</p> <p>(会員) 第5条 本会の会員の種類は次の通りとする。 (1)個人会員 ① <u>大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・高等学校、その他教育・研究機関において教授、助教授、講師、助手並びに教育者・研究者としてインターンシップに係わる諸問題の研究並びに教育活動に携わる者</u> ② <u>企業、学校、各団体役職員でインターンシップの実践の任にあたる者、及び実践となった場合に関係する役職にある者(学校職員、人事担当者、経営者等)</u> ③ <u>大学院生、研究生であってインターンシップに係わる諸問題の研究に携わる者</u> ④ <u>インターンシップについての研究歴、実践歴がある者</u> ⑤ <u>その他、理事会において適格者として認められた者</u> (2)法人・団体会員 ① <u>インターンシップの研究に賛助する学校、企業、若しくは団体</u> ② <u>賛同する学校、企業、若しくは団体に属する役職員2名迄を個人会員扱いとする。</u></p> <p>(会費) 第7条 会費の年額は次の通りとする。 (1)個人会員 年間 10,000円 但し、<u>大学院生、研修生</u>は年額 5,000円とする。</p> <p>(役員) 第10条 本会に次の役員を置く。 理事 30名以内 うち 会長 1名 <u>副会長 3名</u> 常任理事 10名以内 監事 2名 事務局長 1名</p> <p>(役員を選任) 第11条 4. 理事のうち、<u>若干名は大会開催予定校より会長が指名する。</u></p> <p>(役員職務) 第12条 5. 事務局長は、会長、副会長、常務理事、理事を補佐する。</p> <p>(部会及び委員会) 第21条 2. 部会及び委員会の種類、構成及び運営等必要な事項は常任理事会で行う。</p> <p>(会計) 第22条 3. 会長は事業年度終了後2か月以内に、事業報告書、収支計算書、<u>貸借対照表、財産目録</u>を作成し、これを監事に提出しなければならない。</p>	<p>(目的) 第2条 本会は、インターンシップに係わる諸問題の研究の推進・普及、社会に対する啓蒙、提言、これに携わる産学の情報連絡、<u>ならびに会員相互の研究上の連絡・交流に寄与すること</u>を目的とする。</p> <p>(事業) 第3条 本会は前条の目的を達するため、次の非営利事業を行う。 ① <u>年次大会及び研究会の開催</u> ② <u>学会誌</u>その他インターンシップに関する諸問題のための資料作成並びに頒布 ③ 内外の関連学会並びに団体等との連絡及び情報の交換 ④ その他本会の目的を達成するために必要な事業</p> <p>(会員) 第5条 本会の会員の種類は次の通りとする。 (1)個人会員 ① <u>インターンシップに関わる研究ならびに実践活動に携わる者、若しくは関心を持つ者</u> ② <u>大学院生、研究生等、理事会の承認を受けた個人会員は、学生会員とする</u> ③ <u>その他、理事会において適格者として認められた者</u> (2)法人・団体会員 <u>インターンシップの研究に賛助する学校、企業、若しくは団体。なお、法人・団体会員の扱いは別途理事会で定める。</u></p> <p>(会費) 第7条 会費の年額は次の通りとする。 (1)個人会員 年間 10,000円 但し、<u>学生会員</u>は年額 5,000円とする。</p> <p>(役員) 第10条 本会に次の役員を置く。 理事 30名以内 うち 会長 1名、<u>副会長 3名、常任理事 10名以内</u> 監事 2名 事務局長 1名</p> <p>(役員を選任) 第11条 4. 理事のうち若干名を大会開催予定校より会長が指名することができる。</p> <p>(役員職務) 第12条 5. 事務局長は、会長、副会長、常任理事、理事を補佐する。</p> <p>(部会及び委員会) 第21条 2. 部会及び委員会の種類、構成及び運営等必要な事項は別途理事会で定める。</p> <p>(会計) 第22条 3. 会長は事業年度終了後2か月以内に、事業報告書、収支計算書を作成し、これを監事に提出しなければならない。</p>

(事務局)

事務局便り

学会後援イベントのご案内

●GISPRI シンポジウム 2007

「若年者の雇用と教育訓練対策 ー若者のキャリア教育と良好な雇用機会の提供のために」

日時：2007年11月21日(水) 10:00～15:05

会場：全社協・瀬尾ホール(東京都千代田区)

主催：財団法人地球産業文化研究所(GISPRI)

後援：日本インターンシップ学会 他

Website：<http://www.gispri.or.jp/symp/symp071121.html>

*本学会会員は参加費が無料になります。申込の際、本学会会員である旨お伝え下さい。

●日本インターンシップ推進協会「改称記念講演・平成19年度インターンシップ成果発表会」

日時：2007年11月30日(金) 14:00～19:00

会場：日本大学経済学部(東京都千代田区)

主催：日本インターンシップ推進協会(旧関東地域インターンシップ推進協会)

後援：日本インターンシップ学会 他

Website：<http://www.jipc.or.jp/>

会員名簿配布ならびに会員情報変更のお届けについて

先般、みなさまにご協力いただきました「会員情報調査票」に基づき、会員名簿を作成いたしました。もうお手元に届いているかと思いますが、会員相互の交流促進、研究・実践活動の活性化にお役立て下さい。

また、今後、所属・住所等が変わりましたら、速やかに事務局宛お届け下さい。連絡先が不明になりますと、年報やニュースレター、大会案内など、会員サービスが受けられなくなりますので、ご注意下さい。

その他のインターンシップ関連行事の情報

●平成19年度インターンシップ推進フォーラム

日時：2007年11月26日(月) 13:30～17:00

会場：学術総合センター一橋記念講堂(東京都千代田区)

主催：文部科学省

照会先：文部科学省高等教育局専門教育課

(担当：高崎、横田)

TEL：03-5253-4111(内2992)

会費納入のお願い

会費納入先

【郵便振替】口座番号 01760-9-118957

加入者名 日本インターンシップ学会

【銀行振込】福岡銀行箱崎支店 普通 2175253

(電信振込の場合は「ニホンインターンシップガッカイ」と入力下さい。)

2007年度会費納入を受け付けております。未納の方は、すでにお手元にお送りいたしました郵便振替用紙か郵便局備え付けの普通払込書用紙をご利用になり、下記振込先までお送り下さいますようお願いいたします。なお、銀行振込でも受け付けております。

日本インターンシップ学会 News Letter 2007.No.2

平成19年11月5日発行

発行 日本インターンシップ学会 会長 田村紀雄

編集 日本インターンシップ学会事務局 事務局長 吉本圭一

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1 九州大学教育学部 教育社会学研究室内

電話 092-642-3125 FAX 092-642-4355 E-mail jsi-edu@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp

Website <http://www.soc.nii.ac.jp/jsi/>